■平成25年度予算

一般会計予算は　82億3,200万円

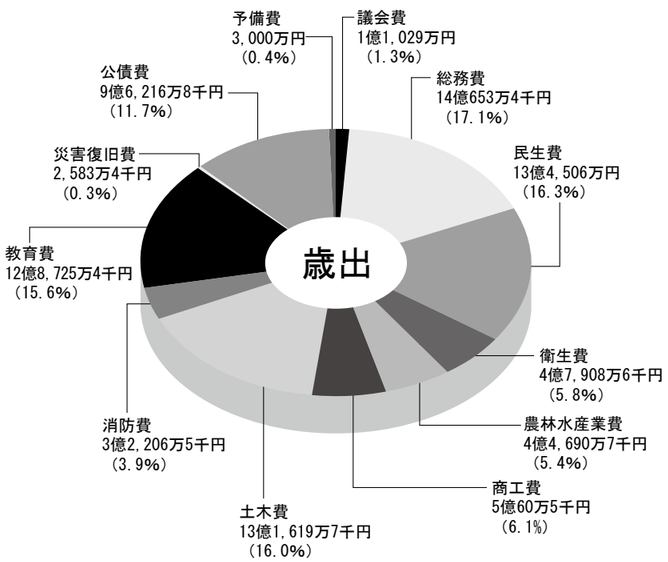
特別会計予算

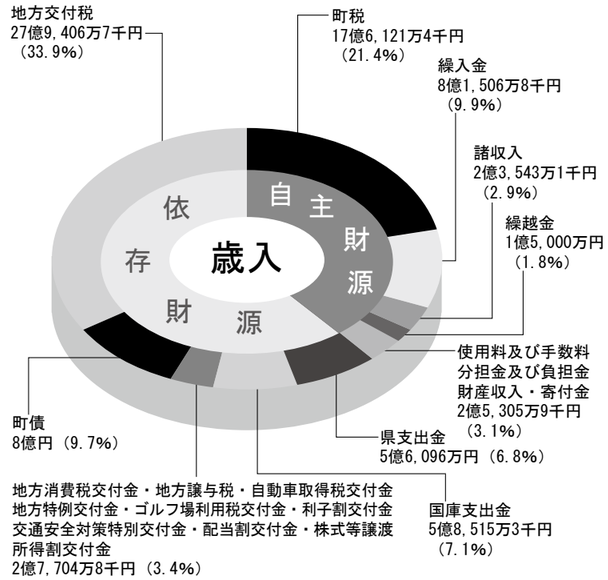
会計名	予算額	対前年度比
猪苗代地区財産区	1,034万3千円	38.4%
翁島地区財産区	234万7千円	△9.3%
長瀬地区財産区	1,357万1千円	△40.1%
吾妻地区財産区	806万9千円	△2.4%
国民健康保険	17億8,765万7千円	2.2%
後期高齢者医療	1億6,042万4千円	1.8%
介護保険	13億9,202万3千円	3.0%
下水道事業	5億7,094万4千円	△15.0%
特定環境保全下水道事業	1億5,920万6千円	9.9%
農業集落排水事業	2億1,167万9千円	△26.6%
簡易水道事業	1億5,914万4千円	30.5%
合計	44億7,540万7千円	△1.1%

水道事業会計予算

区分		予算額	区分		予算額
収益的	収入	2億9,635万7千円（対前年度比△0.2%）	資本的	収入	266万円（対前年度比△11.3%）
	支出	2億9,076万7千円（対前年度比△0.1%）		支出	6,523万8千円（対前年度比△40.0%）

※資本的収支の不足額6,257万8千円は、当年度分損益勘定留保資金から補てんします。





町税の内訳

区分	予算額	対前年度比
町民税	5億3,195万1千円	2.8%
固定資産税	10億3,030万5千円	△5.3%
軽自動車税	3,482万4千円	2.3%
町たばこ税	1億3,424万1千円	21.5%
特別土地保有税	1万円	0%
入湯税	2,988万3千円	54.8%
合計	17億6,121万4千円	△0.5%

病院事業会計予算

区分		予算額	区分		予算額
収益的	収入	4,869万1千円（前年度額 5,702万8千円）	資本的	収入	536万円（同 1,397万4千円）
	支出	5,193万1千円（前年度額 6,135万2千円）		支出	1億4,218万5千円（同 1億6,218万6千円）

※収益的収支の不足額324万円および資本的収支の不足額1億3,682万5千円は、基金から補てんします。

健全で安定した町の財政を目指した25年度の予算が決まりました。一般会計当初予算の総額は、82億3200万円と、前年度に比べ6億3200万円（8・3%）増加しています。全国的に厳しい財政状況の中、予算編成にあたっては財源を効率的に配分し、さまざまな施策を進めます。25年度予算のあらましについてお知らせします。

一般会計 歳入

歳入は大きく「**自主財源**」と「**依存財源**」の二つに分けられます。

「**自主財源**」とは、**町が自主的に確保することができる財源**のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の主要な財源の一つである町税は17億6121万4千円（前年度比829万7千円の減）で歳入全体の21・4%を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調整基金などからの繰入金が8億1506万8千円（前年度比5億919万9千円の増）、雑収入などの諸収入が2億3543万1千円、前年度からの繰越金は前年と同額など、自主財源の合計は32億1477万2千円で、歳入全体の39・1%となっています。

「**依存財源**」とは、**国や県から交付される財源**のことで、地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などが挙げられます。

依存財源では、全体の33・9%を占める地方交付税が、27億9406万7千円（前年度比4705万9千円の減）。町債は、川西認定子ども園整備事業などを見込み、8億円となりました（前年度比4920万円の増）。

町債の借り入れに当たっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担が軽減できるように努めました。国・県の負担金、補助金や地方消費税交付金など、依存財源の合計は50億1722万8千円となり歳入全体の60・9%を占めています。

一般会計 歳出

歳出では、厳しい財政状況の中、限られた財源の効率的な活用に努めます。行財政改革の推進により事務事業を徹底的に見直し、経費の節減・合理化を進める一方、重点施策を選別して編成しました。

歳出の17・1%を占める総務費は、町の全般的な管理などに使われる費用で、14億653万4千円（前年度比6億2071万4千円の増）となっています。

これに続くのが、社会福祉や児童福祉などに使われる民生費です。全体の16・3%、13億4506万円（前年度比79万5千円の減）を占めています。

その次に続くのが、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などに使われる土木費で、全体の16・0%、予算額は13億1619万7千円（前年度比3130万3千円の減）。

以下、幼稚園、小・中学校、生涯学習やスポーツ振興などに使われる教育費が、全体の15・6%、予算額は12億8725万4千円（前年度比2714万5千円の増）。借入金償還のための公債費が全体の11・7%、9億6216万8千円（前年度比1789万9千円の減）。

商工費は5億60万5千円（前年度比4837万9千円の増）。衛生費は4億7908万6千円（前年度比3779万4千円の減）。農林水産業費が4億4690万7千円（前年度比4244万5千円の増）などと続き、消防費は3億2206万5千円（前年度比3722万4千円の減）。議会費は1億1029万円（前年度比907万円の減）となっています。

25年度の主な事業

本年度中に実施する主な事業を紹介します。

▽川西認定こども園整備事業
2億4045万1千円

▽防災行政無線更新事業
3億230万円

▽旧町立病院耐震改修事業
1億6293万円

▽旧吾妻第二小学校屋内運動場大規模改修事業
1億90万7千円

▽道の駅整備事業
6534万7千円